

不二製油グループ本社株式会社 2024 年度第 1 四半期 決算説明会 主な質疑応答

・日時	2024 年 8 月 9 日（金）17:00～18:00		
・出席者	取締役 兼 上席執行役員	最高財務責任者 CFO	前田 淳

Q. 第 2 四半期に、業務用チョコレート事業・ブラマーで発生を見込んでいる仕入価格と販売価格の期ズレによる影響額はどの程度を想定しているのか。

- A. 2024 年の初頭からのカカオ価格の急激な上昇に伴い、第 2 四半期にカカオの仕入価格が販売価格に先んじて上昇するため、第 2 四半期に原価上昇の影響額を約 31 億円程度と想定している。
収益の期ズレのため、下期以降に販売価格改定が追い付いてくることで、同等程度の収益へのプラスを見込んでおり、通期では期ズレ影響は解消され则认为している。

Q. チョコレート用油脂 CBE の各エリアの状況について。

- A. 第 1 四半期の CBE の販売数量は、日本、東南アジア、欧州などで前年を上回り、需要は堅調に推移しており、特に東南アジアでは比較的早く需要が顕在化している。一方で、米国ではチョコレート菓子市場が低調であり、CBE を除くチョコレート用油脂の販売数量は前年を下回っている。

Q. 第 1 四半期の実質営業利益が 52 億円だが、会社予想比ではどうか。

- A. 第 1 四半期のブラマーの先物評価益を除いた実質営業利益 52 億円に対して、会社予想比では 16 億円程度上振れたと想定している。エリア別では、日本での業務用チョコレートの販売好調、東南アジアでの植物性油脂及び業務用チョコレートの上振れ、また、欧州での植物性油脂の販売伸長により、全体的に堅調に推移したと考えている。

Q. 支払利息が大きく増えているが、今後も継続するか。

- A. カカオ価格の高騰による運転資本の増加に伴い、短期借入金が増加した影響で支払利息が増えている。米国ブラマーによる部分が多い。カカオ価格に落ち着きが見られることに加え、米国金利の一服感により、今後の支払利息は徐々に落ち着くと想定している。

以上